

神の国の奥義(32)

=人となられた神⑰=

■御言葉:ヨハネ11章

- ① ラザロの病気の目的(4節):人の不真実は神の真実・栄光(創世記50:20;ローマ3:7)
- ② イエスのタイミング(6節):人の要求・期待と神の回答のズレ
- ③ ユダヤでのリスク(9,10節):光(=イエス)と共にあれば安全
- ④ 悲劇に対する主の見方(14,15節):トマスの血肉的反応(16節)
- ⑤ マルタの行動パターン(20-28節):人間的配慮と要求がまじさに満ちている(マニピュレーション)→神をマニピュレートすることはできない
- ⑥ マリアの行動パターン(32節):主をひざまづいて拝する→主を動かす(33,35節)
- ⑦ イエスの人間としての反応(33,35,38節)
- ⑧ イエスの父に対する信仰(41節):信仰の瞬間には「得た・解決した・癒されたetc.」分かる→ I KNOW THAT I KNOW.(内的照明)
- ⑨ ラザロの蘇り→あくまでもアダム系の肉体においてであり、復活とは違う
- ⑩ ユダヤ人の反応(45-57節)

■暗証聖句

11:4 イエスは、それを聞いて言われた。「この病気は死で終わるものではない。神の栄光のためである。神の子がそれによって栄光を受けるのである。」

11:9-10 イエスはお答えになった。「昼間は十二時間あるではないか。昼のうちに歩けば、つまづくことはない。この世の光を見ているからだ。しかし、夜歩けば、つまづく。その人の内に光がないからである。」

11:40 イエスは、「もし信じるなら、神の栄光が見られると、言っておいたではないか」と言われた。

11:41 イエスは天を仰いで言われた。「父よ、わたしの願いを聞き入れてくださって感謝します。
11:42 わたしの願いをいつも聞いてくださることを、わたしは知っています。」

創世記50:20 あなたがたはわたしに悪をたくらみましたが、神はそれを善に変え、多くの民の命を救うために、今日のようにしてくださったのです。